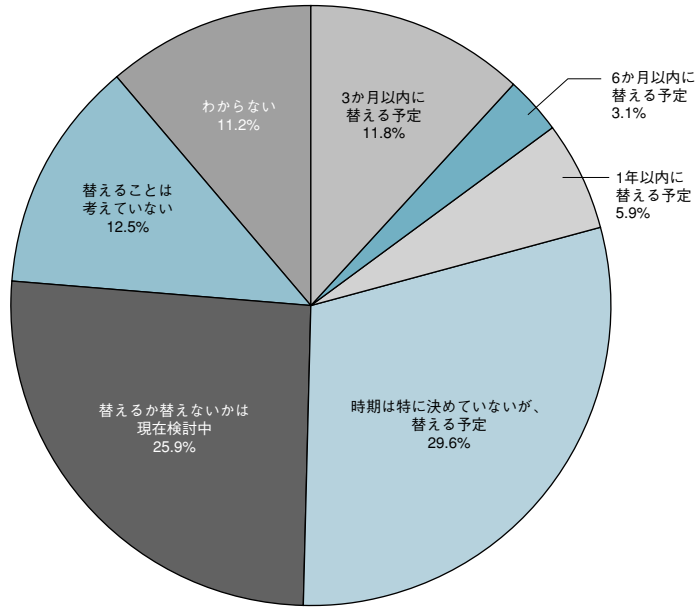


モデムによる ダイヤルアップ接続

ダイヤルアップ接続を割り切って使う人も

資料2-1-56 モデムによるダイヤルアップ接続利用者のブロードバンド接続への乗り換え意向 N=321

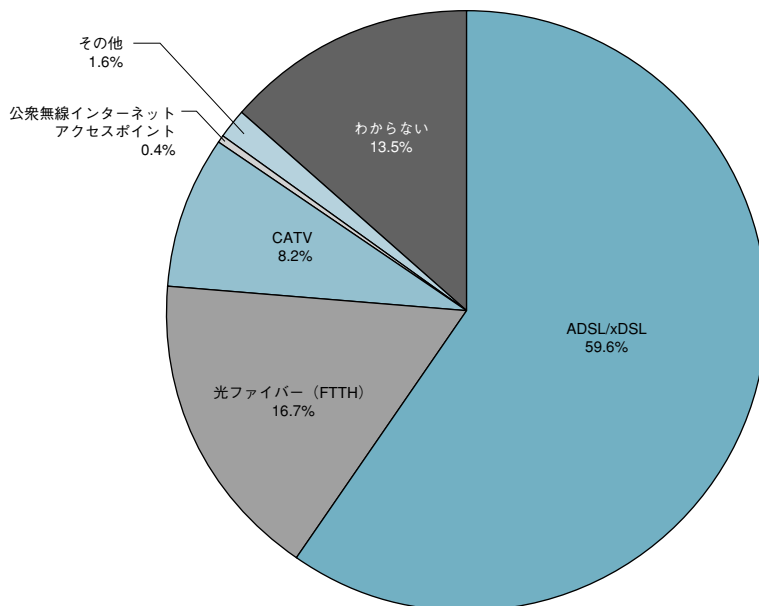


©Access Media/impress,2003

約半数がブロードバンドへの切り替えを予定。ただ、ISDN利用者の64.5%が切り替えを予定しているのに比べると少ない。ダイヤルアップ接続は通常の電話料金の範囲で使えるため、使用頻度が少なく速度にこだわらない人が使い続けているのだろう。

ADSLへの乗り換えを考えている人が59.6%

資料2-1-57 モデムによるダイヤルアップ接続利用者が契約予定のブロードバンド回線 N=245



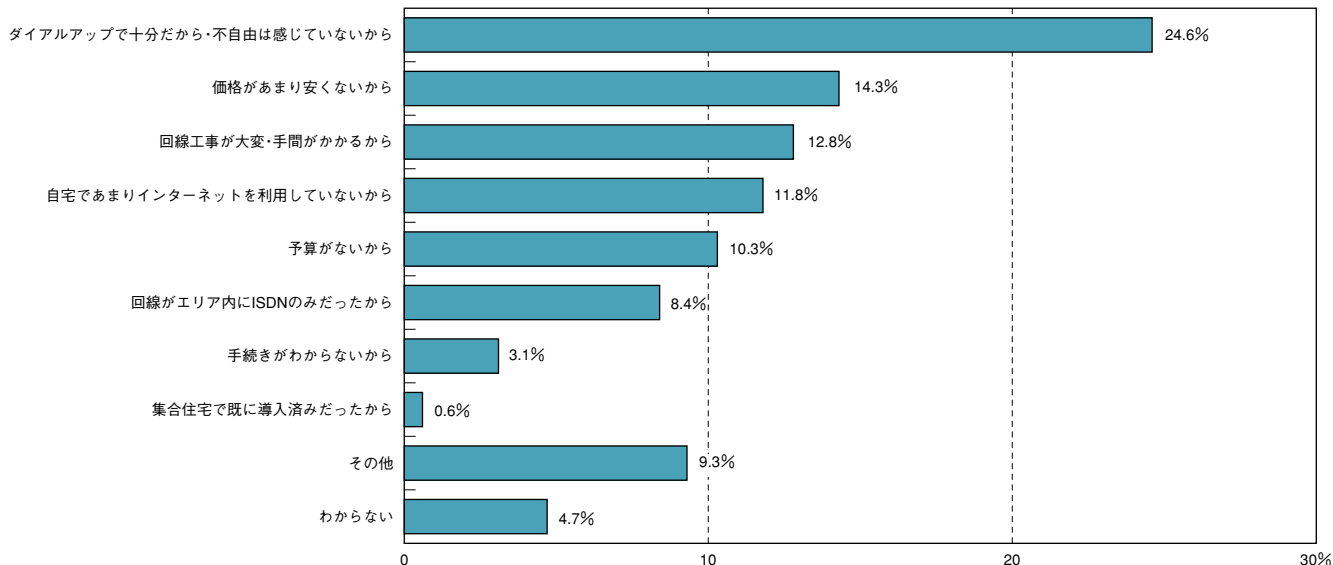
©Access Media/impress,2003

契約予定のブロードバンド回線として人気があるのはADSL/xDSLで、6割近い人が選んでいる。ADSLは、従来の電話回線をそのまま利用できるうえ、比較的安い料金で常時接続と高速通信に対応できるのがメリット。ほかにも光ファイバーとCATVが候補に挙げた。

モデムによる
ダイヤルアップ接続

ダイヤルアップ利用者はインターネットをあまり活用していない

資料2-1-58 モデムによるダイヤルアップ接続利用者がブロードバンド回線を使わない理由 N=321

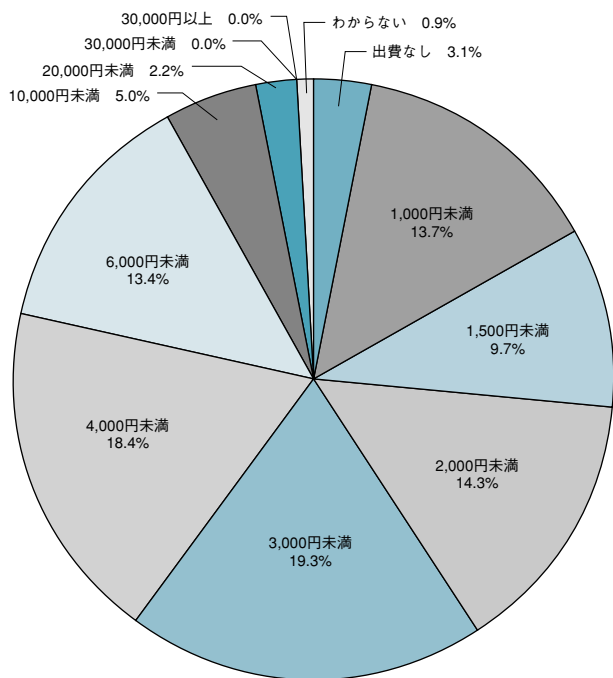


ダイヤルアップ利用者がブロードバンド回線に切り替えない理由のトップは「不自由を感じていないから」。「あまりインターネットを利用していない」といった意見もあるなど、利用頻度と速度面でそれほど問題を感じていない人が使い続けている。

©Access Media/impress,2003

ダイヤルアップ利用者の6割が月額3,000円未満

資料2-1-59 モデムによるダイヤルアップ接続利用者が1か月に支払っているインターネット利用料金 N=321



ダイヤルアップ接続はブロードバンド回線に比べて格安。2,000円未満の合計だけで4割を超えているほか、月額3,000円未満で使っている人が60.1%もいる。4人中3人が4,000円未満で利用しているなど、たまにしか使わない人にとってはこの「安さ」は魅力だろう。

©Access Media/impress,2003



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp